

つながりの中でくらす  
望まれた人として生きる  
自分らしく生きていく



No. 56

2018年4月発行

## 門出の春に



この春、当法人が運営する放課後等デイサービス〈楽童ほうぶ〉では、3名の生徒が市立中学校に、2名の生徒が高等学校に進学しました。中学校に進学した生徒は、それぞれの中学校の教育方針に従って授業を受けることとなります。大阪市では、支援学級在籍生徒も普通学級で全ての授業を受けている学校もあれば、科目や学力や保護者の希望などによって支援学級に抽出をしている学校もあるので、学校により授業の受け方が異なります。学校選択制という制度ができてから、どの中学校が「我が子にとっていいのか」と悩む保護者が増えました。〈楽童ほうぶ〉の保護者の中にも選択に迷った方がありましたが、結局、校区の中学校を選択され、小中学校の引き継ぎがしっかりと行われました。〈楽童ほうぶ〉でも「個人将来計画ワークショップ」を開催して、小中学校の先生に参加していただき、小学校から中学校へとつなぐお手伝いをしました。

高等学校へ進学した生徒2名は、私立高校と府立高校に進学しました。知的障害や発達障害のある生徒たちにとって、学力選抜である受験は高い壁です。どの高校を受験するか、どのように受験にのぞむか、本当に悩みながらの進学でしたが、二人とも、希望の高校に進むことができました。高校生活は、大変なこともあると思いますが、楽しいことをたくさん見つけてほしいです。今、私たちにできることは、心地良い居場所となることと学習支援くらいです。いいスタートができるようサポートしていきたいと思っています。

門出の春に「子どもたちの未来が輝いていますように」と祈ります。そのために私たちも頑張ろうと心を新たにしています。

## 清水フェスティバルに参加

日時：2018年3月4日（日）10:00~14:00

会場：大阪市立清水小学校

主催：清水フェスティバル実行委員会・清水校下地域活動協議会

参加者：子ども9名、学生ボランティア6名

昨年に続き、清水小学校で行われた地域の行事「清水フェスティバル」に参加しました。

子どもたちが作った七宝焼きやさりを織の作品、クルミボタンの髪ゴムやクリップ、七宝焼きの先生からいただいた小物などを並べました。革の切れ端にイニシャルを打刻して、飾りをつけて、キーホルダーを作る実演販売も行いました。地域の方々がいろんな食べ物の店や体験コーナーを出店されていて、子どもたちは学生さんと一緒に、店番をしたりお店を回っておいしいものを食べたりして楽しく過ごしました。子どもたちにとっては、販売の仕事体験ができ、地域の方々と交流でき、とてもいい機会になりました。また、会場の後片づけの時には、学生ボランティアさんたちが、グラウンドのテントを片付けたり机やイスを運んだりして活躍してくれました。また来年も参加したいと思います。

#### ＜ボランティアの感想から＞

- ・今日は清水フェスティバルでした。Mちゃんは、オープニングセレモニーをとても熱心に見ていました。清水フェスティバルに参加するのは二回目で、子どもの家族や知り合いに出会うことが多く、とても地域の繋がりがある良いイベントだなと感じました。
- ・久々のほうぶでしたが、雑貨の販売や、お店を見て回ったりしながら、子どもたちとうちとけることができ、よかったです。ただ、細かいルールについては知らない面が多々あったので事前に聞いておくという準備が必要だと感じました。



## 放課後等デイサービス「楽童ほうぶ」報告

1月4日は大阪天満宮まで初詣に行きました。皆でおみくじをひきました。金色の文字の大吉をひいた子ども、凶をひいたスタッフ、はてさて、今年はどんな年になりますやら。

1月6日は、七草の勉強をして七草粥を作り、凧作りをして凧揚げに行きました。5人の学生ボランティアが来てくれました。淀川の河川敷まで行ったにもかかわらず、風がなくて、高く上げることができませんでした。13日は地域の女性の方々が来てくださり、子どもたちに昔遊びを教えてくださいました。コマ回し、お手玉、だるま落とし、竹トンボ、いろんな遊びを楽しみました。

2月3日は、節分のイベントをしました。鬼の面作りをして、巻寿司をつくりました。6人の学生ボランティアが来てくれましたが、学生さんたちは子どもたちに巻寿司の巻き方を教えてもらっていました。2月16日は、旭消防署の方に来ていただき、スタッフ（常勤・アルバイト）を対象にした救命講習会を行いました。ビデオを見た後で、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方など、参加者全員が実際に行って学びました。

3月10日は避難訓練をしました。午前中は、町会の避難訓練に一部の子どもとスタッ

フが参加し、午後は、みんなでヘルメットを被る練習をして、避難場所の小学校までの経路確認をしました。春休みは、いい天気が続き、毎日のように公園に遊びに行きました。公園は桜が満開で、毎日がお花見のようでした。また、毎日、クッキングをして、学習にも集中して取り組むことができました。17日は、中学を卒業する生徒2人を連れて卒業遠足に行きました。31日は鶴見緑地公園までお花見に行きました。

4月、職員の体制が変わりました。管理者兼児童発達支援管理責任者1名(社会福祉士)、児童指導員3名(社会福祉士、小学校教諭資格、養護教諭資格)の常勤4名体制になりました。これに大学生等のアルバイトさんが日々1名入ります。この機会に、活動内容も見直し、より質の高いサポートや活動をしていきたいと思っています。



## お花見

日時：2018年3月31日(土) 10:00~17:00

参加者：子ども9名、大阪経済大学と大阪工業大学の学生さん13名

鶴見緑地公園にお花見に行きました。穏やかな春の日差しで、風もなく、桜は満開。絶好のお花見になりました。桜やチューリップなどの花が咲く庭園をめぐり、小高い芝生の上の木陰で、桜を眺めながらお弁当を食べました。こども達はよく歩きよく遊びました。最後に、アイスクリームを食べて元気を出して、帰路につきました。

### <ボランティアの感想から>

- ・大学生になってから花見をする機会がなかったのでちょうどいい機会になりました。桜を見ながら食べるご飯も良かったです。今日はたくさん遊んだのでぐっすり寝れそうです。
- ・前回参加できなかったのが久しぶりのほうふでした。お花見はなかなかできないのですごく楽しみでした。Aちゃんは長距離を歩くのが少ししんどそうだったけど、周りの子ども気にかけてくれていました。毎回来るたびに学ぶことがたくさんあります。



4月、放課後等デイサービスの職員の入れ替わりがあり、バタバタとしています。改めて活動や支援を見直して、改善できることは変えていきたいと考えています。法人の理念や福祉サービスの活動方針がしっかりとあれば、柔軟に、冒険しつつも、丁寧に変更していけばよいと思っています。こどもも保護者も職員も、一緒に学び合い育っていききたいと思います。

気温の変化が大きい季節です。くれぐれもご自愛ください。

